

2020年 新年のご挨拶

生活習慣の改善から

アメリカ合衆国教化総長
勅使川原淑子

全米の神の子の皆様方、新年明けましておめでとうございます。

2020年も皆様方とご一家皆様様にとり、神の祝福満ち溢れる1年でありますように、また、世界が平和でありますようにと心より祈念申し上げます。本年も皆様方と一緒に、生長の家を明るく丁寧に生きて、人類光明化運動・国際平和信仰運動のさらなる伸展のために挺身させて頂ける事を、心より感謝申し上げます。

昨年も各種の行事や会議を通して各教区と直轄地区を訪問させて頂きました。何処に伺いましてもおぼれる笑顔と優しく温かな言葉をかけていただき、心から感謝申し上げます。年間を通して神さまの御意を表現するために誠心誠意尽くされる皆さまとの出会いは、私にとりましてかけがえのない思い出であり、また、新たな年を進むための大きな励みとなりました。改めてお一人、お一人のお心遣いに感謝申し上げます。有り難うございました。本年も幹部研修会や一般講演会等でお邪魔致しますので、何卒宜しく願い致します。

念頭にあたり、総裁・谷口雅宣先生は世界の信徒へ向けて新年のお言葉「“平和への道”を進もう」を発信されました。前ページに掲げさせて頂きましたのでご一読下さいませ。そして一人でも多くの方々に総裁先生のお言葉をご紹介します。誌友会等では参加者全員で拝読なさって下さいませ。

吾々は2017年度から、「“新しい文明”の基礎を作るための3カ年計画」をスタートさせ、昨年度、最終年度を迎えました。そこで、アメリカの幹部・信徒は3カ年の運動の締めくくりとなる昨年度、“新しい文明”につき今一度認識を新たにすることに注力しながら2019年度の運動推進に取り組みました。すなわち、“新しい文明”とは、自然の繁栄が人間の繁栄と幸福であるような生き方であり、そんな生き方を支え、拡大する力となる信仰や哲学、科学技術、経済、政治の全体を指す事の認識を深めあい、その上で、吾々生長の

家の幹部・信徒は、今、“新しい文明”を築く土台となる部分の構築に着手している事を明確に理解しあう努力を重ねました。

一方で、その間に総裁・谷口雅宣先生と白鳩会総裁・谷口純子先生のご講話やご著書を通したご指導により、“新しい文明”は、吾々人間の自然に対する考えと生き方を変えるところから始まる事を痛感するに到りました。数年前、総裁・谷口雅宣先生は“新しい文明”を築くための指針として、次ぎの3項目の実現を目指す事を提案されました。①欲望の適切な制御、②富の公正な分配、③国際平和の維持 でした。この中で、吾々の宗教運動と最も近い関係にあるのが①の欲望の適切な制御です。只今、世界の信徒とともに本格的に取り組んでいるライフスタイルの転換のための”3つの実践”①ノーミート、低炭素の食生活、②省資源、低炭素の生活法、③自然重視、低炭素の表現活動こそが、この①に掲げられた「欲望の適切な制御」を実現するためのものである事をどなたもお気づきの事と思います。上記の3つのライフスタイル（欲望の適切な制御、富の公正な分配、国際平和の維持）をより具体的、組織的に日々の生活の中で展開して行く3つの仕組みが生まれ、只今世界の生長の家の信徒がそれぞれの活動を展開しているのです。（SNI オーガニック菜園部、SNI 自転車部、SNI クラフト倶楽部）

アメリカにおいても昨年度、これら3つの取り組みをより積極的に進めるため、本部講師と伝道本部の職員による担当者を置き、皆様方の支援体制を確立しました。その結果それぞれのクラブへの入部の気運が高まってきております。また、地域とのつながりを大切にしながら「生長の家自然の恵みフェスタ」が4教区において毎年開催されるようになりました。この事により、人間は全てのものの恩恵によって生かされている事に気づく人々の増加が見られた事は、有り難い事です。伝道本部ではISO14001を取得してから今日まで、外部審査を、幾たびも見事な評価で通過して来ました。つい先頃の外部監査官は、“生長の家の皆さんの取り組みは素晴らしい。環境保全については色々な意見があるが、生長の家の皆さんのような生活習慣が人々に広まる事が、最も重要な事なのです”と讃嘆されました。『日々の祈り』の「よい生活習慣を創り出す祈り」を今一度拝読し、吾々の生き方は神の御心を体現するものであり、それを拡大することが神の御心であることを銘記しましょう。

昨年は『ムスビの概念の普遍性を学ぶ』（日・英）や『日々の祈り』（英）第2巻が発刊され、英語及び日本語スピーキング両方の皆さまにとり、嬉しい年でもありました。その他、炭素0の取り組みの第二次工事として伝道本部の建

物に太陽光パネルが増設されました。これらの喜びが、幹部・信徒の伝道意欲を高め、聖使命会員の拡大や TOL 誌の購読者及び誌数拡大に繋がったとは言いがたい現況です。このため、2020 年度は、基本的には 2019 年度の方策を踏襲する事になりました。

創始者・谷口雅春先生は、人生最大の目的は悦ぶことであるとお諭しになりました。本当は、“悦び”のみが神の御心であることを確認しつつ、互いに感謝し、助けあいながら神の御心を明るく表現して参りましょう。

本年も皆様方の内在の神性・仏性を遺憾なく発揮され、充実した 1 年となさ
って下さい。合掌！